

オレオレ詐欺にご用心!

つい「自分は大丈夫」と思
つてしまいがちですが、身内
を思いやる人を動揺させる卑
劣な手口は年々巧妙化してい
ます。いざというとき、あな
たは大丈夫ですか?

【注意1】

お金の話が出たら警戒する

「お金を振り込んでほしい」
という話が出たら、「詐欺か
も?」と疑いましょう。相手
が振り込みを急がせるような
らなおさらです。

【注意2】

いったん電話を切る

どんなに心配でも、「折り
返し電話する」といって、い
ったん電話を切りましょう。
落ち着いて話の内容を整理す
れば、つじつまの合わないこ
とに気がつきえます。

【注意3】

振り込む前に相談する

口止めされても、一人で判
断せずに必ず誰かに相談しま
しょう。

年末年始特別警戒取締り

年の暮れには、強盗やひった
くり・空き巣など金品を狙つ
た犯罪や交通事故の多発が予
想されます。

警察と防犯協会では、これ
らの犯罪発生を防ぐため、12
月10日(金)から1月3日(月)ま
で、年末年始特別警戒取締り
を行い、パトロールや交通指
導・取締りなどの安全活動を
実施します。

住民の皆さんによる「声か
け挨拶運動」や「一戸一灯運
動」等による不審者の寄りつ
きにくい環境づくりをはじ
め、朝や夕方に家周辺の掃き
掃除をするときや犬の散歩の
ときに不審者がいないか注意
をするなど、普段の生活の中
でできるちょっとした防犯を
心がけて下さい。

※成東警察署

0475-82-0110

文芸

俳句

栗江会

冬耕やトラクターあと小鳥啄む
立冬の日の入り菖池の面に

新聞を取る手冷たき終花
大雨が冬耕の労重ねさす

暮の秋今宵も老母は針運ぶ
梵鐘の棚引く響き秋暮るる

垂直に下界に届く今日の月
吊りししのぶ影を濃くして夕べ月

柀の咲きてこぼるる早さやな
冬耕の四隅は老の缺使う

少年の顔ゆがみけり淡い柿
粧ふて山の古木を隠しけり

残暑中すんとと変わる秋の風
秋空や忘れたような雲ひとつ

秋更けて碧深みけり坂田池
波来ぬ間蜻蛉の好きな姿

暦剥ぐ手を惹はせる暮の秋
ひこばえ俳句会(互選句)

浅野 茂子

池田 逸子

若梅あやめ

山口 一秋

栗扇

藤代 ゆう

福田 幸子

長谷川理正

今関満喜子

桑名 大行

一日にはいくたび見上ぐ庭の柿

伊藤 敬子

松手入れ梯子にからむ脚二本

川島 孝夫

干し魚をとんびの狙ふ小春風

向後 寛

露座佛のつぎ目に細き秋の雨

佐瀬 輝夫

風荒れやコスモス畑修羅模様

布施 和代

木守り柿常連の鳥啄ばめり

若梅あやめ

霜月や平民宰相原敬

渡部 和秋

良き味に漬けくれし姑思ひつつ

芹川 初子

紫蘇の実洗ふ厨にひとり

葱畑を深き緑の色に染め

八角 三枝

夕闇が徐徐に迫りあるなり

抜け出たる青首大根艶めきて

秋の畑にいのち漲る

佐瀬 初音

友の背に差す木洩れ日の光ゆらぎ

撫の林の小道をゆきぬ

秋葉 悦子

孫生れし年に植ゑたる丹波栗

樹齢かさねて落ち実多なり

青木 秀子

スーパードに並む寿司見つつ亡き母が

縁日に巻きてくれしを思ふ

上総 晴子

伸ばしたる足は湖面を蹴りたるか

鳴着水すしぶきを揚げて

西山満里子

信号を待つ間を園児の黄の帽子

島田ますみ

バスの中にて見え隠れあつ

その一首練りつつ歌会は今日もまた

いつしか熱き舌戦となる

宇井 ちい

測量士に伐られし柿は三年経て

またも実をつけ色付ききぬ

田崎 尚美

妻の逝き夕餉終りし箸箱に

カタカタと鳴る吾のみの箸

永藤 滋

出生率減りて未来を案ずるに

集団自殺の新聞の記事

池田 春江

名月に合はずがに鳴く虫の声

身動きもできずしばし佇む

萩原 信一

小旗振る吾らに堺正章は手を振りくれぬ

クラシックカーより

鈴木 やす

拉致されて帰らぬ子を持つ親達も

蟋蟀鳴くを聞いてるまきむ

押尾 輝子

再現の庄屋の家に浴け込みて

祖母の呼ぶ声ふとも聞こゆる

(房総のむら博物館)

吉岡 信子

茄子・茗荷・オクラを両掌に抱きみつ

吾が庭畑の終り初物

越川 教子

碧き空背にせる杜の大公孫樹

梢をわたり行く風のあり

選者 斎藤 つね子

